



大阪市会議員 森山よしひさ

編集・発行 大阪市会議員 森山禎久事務所

〒556-0015 大阪市浪速区敷津西 2-1-12 YKビルディング 1階A号室

☎ 06-6630-8800 FAX 06-6630-9260



facebook

日々の活動を配信中!



心 通う市政で笑顔溢れる大阪に



5月26日本会議にて
討論を行う森山議員

大阪市会議員の森山よしひさです。

5月市会も終わり、新しく常任委員会や特別委員会の所属が決まりました。私は常任委員会では昨年に引き続き会派代表者として教育子ども委員会の配属になりました。特別委員会では市政改革特別委員会というところの副委員長に任命され、また市会運営委員会でも副委員長に決まりました。ここ数年色々な意味で揺れ動く大阪市ですが、皆さんの声をしっかりと大阪市につなげて、破壊ばかりではなく、建設的な議論を推し進めたいと思います。

日差しも日増しに夏らしくなってきましたが、梅雨明けが待ち遠しい気持ちです。足元の悪い日がまだ続きますが、皆さんにはお気を付けてお出かけ下さい。

再び 32億円!? まだやるの?税金で

住民
投票

大変残念なお知らせですが5月23日の市会・6月9日の大阪府議会において再度の法定協議会設置が維新・公明の賛成で可決されました。

法定協議会では再度大阪市を解体し府に吸収する設計図作りと総合区は大阪市を市長の意向でパズルのように合区する案などが、話し合われます。

総合区も市民の為になる様に慎重な議論が必要です。けっして上から市民に下ろすようなやり方は断固反対です。

皆さんに思いだして欲しいのですが、前回の住民投票には費やした時間が2年3カ月、費やした税金が32億円です。そして、大阪市解体の住民投票は2年前に否決され終了したにも関わらず、あの住民投票で真っ二つに市民が分断され、現在も、しこりが残った状態が続いています。

二重行政、既得権益などとレッテルを貼り、民間公募が正義であるような印象操作で市民を洗脳してきました。

また30億円もかけて住民投票するの?!
都合60億円以上もあれば、どれだけの市民サービスができると思ってんのよ!!



今回の住吉市民病院問題は7万人の病院廃止反対署名を無視し、廃止を強行。民間病院の誘致を約束しましたが、誘致を失敗させたのです。本来、救うべきは市民の命なのです。

浪速区においても多くの公共の場が破壊され、後戻りのできない事案がたくさんあります。

皆さんにはしっかりと印象操作に利用されぬように情報収集に努めて頂き、共に良き浪速区の発展を目指して行きましょう。

決定的な医療空白

これまで、大阪市南部の医療を、大阪府と大阪市の病院が役割分担をして、地域医療を支えてきました。

そして、都構想を掲げる大阪維新の会が、住吉市民病院を二重行政の象徴としてレッテルを貼り、医師会や地元住民などによる反対運動もむなしく、市民病院の廃止方針と跡地の民間病院の誘致を推し進めました。



その結果・・・

二度にわたり、民間誘致の公募を行ったが失敗に終わり、最低でも2年間の医療空白が決定的となりました。その為に慌てた大阪市は強引に、ある民間病院に白羽の矢を立て、全体計画を確認しないまま、この病院に決定するも、再度計画倒れに終わり、医療空白が生まれるのは必至となりました。

二重行政のレッテル貼りは市民の命も奪いかねず、医療空白の解消を早急に解決しなければなりません。

おおさか政令市プラン 発表

～大阪の新しい大都市制度～

6月5日自民党大阪府支部連合会よりおおさか政令市プランというものが発表されました。(自民党大阪府支部連合会HPにて詳細掲載)

このプランは簡単に言うと大阪全体を政令市の集合体にするという考え方です。すでに大阪では**大阪市**と**堺市**が政令市なので、例えば東大阪市と八尾市・柏原市の合併で一つの政令市が完成するように他の市町村でも連携する協議の場を設けて熟議し、合併の機運が高まれば政令市への移行を目指します。

けっして、すぐさま合併ありきで乱暴なものではなく、自分のまちを考える良いきっかけになる事が大切だと思います。

平成28年度一般会計決算見込速報値

平成28年度、大阪市一般会計公営準公営会計の決算見込みが発表されました。

一般会計では収入が1兆5833億円、支出1兆5819億円と28年連続の黒字を確保いたしました。

また、公営準公営企業会計では地下鉄事業の382億円、バス事業が6.6億円の黒字の見込みも発表されました。この結果、大阪市の借金である市債残高は12年連続の減となりました。大阪市は約10年前から始まった市政改革及び財政再建が着実に進んでいます。逆に大阪府は借金が増え、依然と大変厳しい状況が続いていると言えるでしょう。

【歳入】1兆5,833億円

(市税・地方交付税・臨時財政対策費・市債収入・特別会計繰入金)

【歳出】1兆5,819億円

(人件費・扶助費・公債費・行政施策経費・特別会計繰出金等)

【市債残高】

全会計

4兆2,768億円(12年連続のマイナス)

政令市とは・・・(大阪市・堺市)

- (一般市・中核市・政令市) の中で**権限と財源が最も豊富**
- 名称は「市」だが、政令市の権限は**都道府県とほぼ同等**
- 自らのまちのことを**自ら決定**できる権限と財源を有する
- 大阪府を経由しなくても、**国と直接交渉**することができる

政令市は70～80万人以上の人口で中核市より移行する事ができます。

大阪府は886.3万人なので大阪市と堺市以外でも6つの政令市を作ることが可能です。東京都のまねをしなくても、日本で一番政令市が多いオンリーワンの大阪でパワーアップよっ!



子ども(小学生)の見守りシステム導入決定!

本年8月25日(金)から大阪市内24区で浪速区が初となる子どもの見守りシステムが開始されます。

人工衛星を使って現在地情報を測定するGPSシステムで子どもの見守り事業をご存知の方も多いたと思いますが、今回浪速区で導入するのはBluetooth電波を利用した子どもの持つ発信機が固定基地局型や移動型を利用して、もしもの時にスマートフォンアプリを利用して、発信機を持った子どもの移場所を把握し、安全見守りができる優れモノです。

この小型発信機を8月25日までに浪速区内の市立小学校生徒全員に無償で提供いたします。



通学路の安全確保の点検を

ハード面の整備には時間がかかるから早い段階での多くの回数を重ねた調査が必要ね

統合から4年目に入った塩草立葉小学校と1年目の日本橋小中一貫のなみはや小学校。この両校の通学路の安全確保が未だに不十分である事が最近の調査で分かりました。特にハード面では道路におけるグリーンベルトや信号、ガードレール、横断歩道などは警察や大阪市の建設局との連携の下で進められるものであり、当該自治住民の多くの要望と交通量や通行量などを鑑みて実現できる可能性が高まるものです。

通学路は地域と保護者の意見を踏まえた上で、学校長が決定する権限があります。しっかりと地域でも通学路の調査をして学校との連携を深めて、子どもの安全確保ができる様に充実につとめてまいります。



児童の下校見守り

パトロール中の森山議員